

映画「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画

二十二年という時を経ても、各地を泳ぎ、沢山の人の心を動かし続けている映画「阿賀に生きる」は、生まれた川を遡ります。

この映画が私たちに教えてくれることは沢山あります。とても辛く悲しい新潟水俣病のことでなく、人の逞しさ、強さ、生きる知恵が至るところに溢れています。物が豊かになる反面で貧しくなっていた心の豊かさが、この中にあります。

東日本大震災、原発事故を経験し、新潟水俣病公式確認から五十年を前にして、この映画に込められている思いも、この作品自体も、これからの未来のために伝えたい、繋げたいと思い、この映画の制作の発起人である旗野秀人さんに相談し『映画「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画』を立ち上げました。

鮭が母なる川へ還り、私たちが自然に恵みを与えてくれるように、新しい命が次へ繋がるように。それを願いながら、旗野秀人さんと映画に携わった方々とともに阿賀野川を遡ります。

映画「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画 代表 平岩 史行



上映会の会場、及び、上映会の開催を手伝ってくれるスタッフを募集しています!

興味のある方は、080-3142-1684(平岩)または電子メール aganogawa210@gmail.comまで

ブログ: <http://aganogawa210.blog.fc2.com/>



レポート4 映画「阿賀に生きる」 上映会の告知・PR

阿賀野川沿岸で順次開催されていく映画「阿賀に生きる」上映会をPR

新潟水俣病問題が続く阿賀野川流域に暮らす人々を、3年かけて記録したエンターテインメントドキュメンタリー映画「阿賀に生きる」。この映画の上映会を阿賀野川沿岸各地で開催していく組「阿賀野川遡上計画」について、主宰者の平岩史行さんと、映画制作の仕掛け人だった旗野秀人さんから告知・PRしていただきました。

映画「阿賀に生きる」阿賀野川遡上計画の詳細



来年(2015年)で、新潟水俣病発生の公式確認から50年

特集
2

新潟水俣病の記憶から遠く離れて...

新潟水俣病の発生が1965(昭和40)年に公式に確認されて以来、半世紀が過ぎようとしています。実は今なお問題が続く中、現在の阿賀野川流域ではどのような取組が行われているのかをご紹介します。

参加者の 主な 感想等

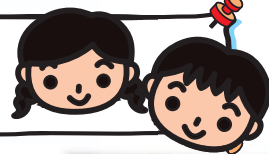
- 若い人達(新潟水俣病を知らない世代)が参加して、未来につながる事が感じられた。(五泉市・60代)
- 「阿賀に生きる」は聞いた事があるが未見なので、時間の都合をつけて見たいと思う。(北区・50代)
- 地元なのに阿賀野川の歴史を知らなかった。特に環境学習ツアーは素晴らしい。(阿賀野市・50代)
- 公害の発生経緯が理解できた。(阿賀町・60代) 繰り返さないため、教訓をどう活かすか。(北区・60代)

小・中学校の先生方へ!!

総合学習応援企画

あがのかわ
環境学習
ツアー

“ほんもの体験”参加クラス募集!



対象 新潟県内の小学校5・6年、中学校1～3年のクラス(20名前後～40名前後)

内容 ① かつての企業城下町・鹿瀬の現地見学
② 元・船頭さんが現地で語る公害の被害

費用 プログラム受講は無料(※バスや昼食についても原則的に負担可能)です。

※本サービスは1学校1回まで利用可能。



申込 (一社) あがのかわ環境学舎
TEL&FAX 0250-68-5424

新潟水俣病を学習できます

今も昔も流域に様々な恵みをもたらしてくれる阿賀野川。しかし、過去にこの大河で起きた悲しいできごとを現地で学習できる機会は、あまり多くありません。そこで、総合学習や道徳などの授業の一環として、先生が無料で利用できるプログラムを**各校1回限り**特別に提供いたします(※1ヵ月当たり2～3校が限度です。で、お申込みはお早めに / 12月～3月の間は冬季のため実施せず)。



上記写真3枚は、【左】昭和電工(株)鹿瀬工場空撮(鹿瀬工場タイムス昭和29年44号より)、【中央】五泉・阿賀野川・最後の帆船(撮影:木村清氏、提供:木村仁巳氏)、【右】横越鮭の地曳網漁(提供:日本料理本徳)

阿賀野川流域全体の歴史とこれまでの流域再生の経緯を振り返る

まず、昔の写真を下流域から上流域にかけて並べた映像作品の鑑賞を通じて、阿賀野川流域の歴史を学習していただきました。

その後、こうした流域の歴史や文化を踏まえた上で、これまでの流域再生の過程を振り返ること、今後の流域の将来を考えてもらいました。

レポート5 阿賀野川流域の過去・現在・未来と地域再生

阿賀野川流域の歴史や文化に刻まれた光と影。その中から毎回題材を1つ選び、当時の貴重な写真の数々を織り交ぜながら、1か月近くに渡る特集を年3〜4回組みます。



左から…本尊岩附近の帆掛け舟、木橋の横雲橋、新津油田地、孝順寺の三度栗（明治～昭和戦前の絵葉書、提供：田辺修一郎氏）

…など

第1弾

イザベラ・バードの阿賀流域行路を辿る

「特集！阿賀野川ものがたり第1弾」は、明治初期の東日本の地を旅したイギリスの女性旅行家、イザベラ・バードが辿った阿賀流域の行路を取り上げます！

イザベラ・バード (Isabella Lucy Bird, 1831年10月15日 - 1904年10月7日)
イギリスの女性旅行家、紀行作家。明治時代の東北地方や北海道、関西などを旅行し、旅行記 "Unbeaten Tracks in Japan" (日本語題「日本奥地紀行」) を書いた。

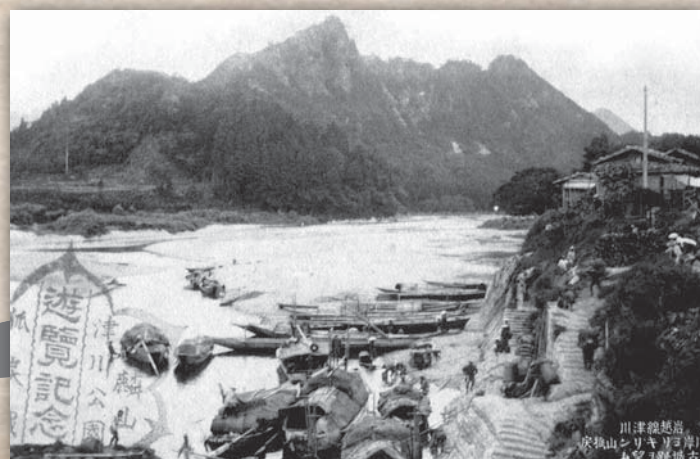


- 津川の宿で食した絶品のフレッシュサーモンとは？
- 阿賀野川をライン川より美しいと絶賛した快適な船旅
- 1週間滞在した当時の新潟の生き生きとした情景描写
- 通船川を通り、阿賀野川を横断して本崎から陸路へ

本編は「阿賀野川え〜とこだ!流域通信」
(<http://www.aganogawa.info/>)
からご覧願います。



イザベラ・バードが
辿った阿賀流域行路



津川の川港と麒麟山（明治～大正期の絵葉書、提供：田辺修一郎氏）

「阿賀野川え〜とこだ!ブログ」を大リニューアル！阿賀野川流域の様々な“旬”の情報をいち早く、阿賀野川流域の歴史・文化に刻まれた“光と影”をじっくりとお伝えします！



阿賀野川を上流域から下流域まで
つなぐ情報発信を目指して

FM事業の情報発信ツールとして、09年から更新してきたサイト「阿賀野川え〜とこだ!ブログ」。おかげ様で、現在では流域内外問わず大勢の方々からご覧いただいております。

このたび同サイトは情報発信機能をさらに高め、阿賀野川流域内の様々な情報を収集して総合的に発信していくため、全面的なリニューアルを実施して「阿賀野川え〜とこだ!流域通信」として生まれ変わりました。

阿賀野川流域情報のポータルサイトを目指して日々更新して参りますので、これからもよろしくお願ひします。



記事をジャンル別に分類し、訪問される方々の利便性を高めました。

✓ 環境・地域再生

- FM事業立上げの原点である新潟水俣病関連情報
- その他環境保全の情報や環境団体が発信する情報
- 一般的な地域再生・地域活性化の取組に関する情報
- 企業のCSRサポート情報



✓ イベント情報

- 阿賀野川流域各地で毎週開催されるイベントを地域ごとに整理して掲載します！
- 地域活性化イベントを中心に、花火情報等も充実！
- 美術館や演劇、街のギャラリー、音楽会等の文化情報も



✓ 流域の食・産物

- 阿賀野川流域は地域独自の食や産物の宝庫
- 街の人気店だけでなく、珍しい郷土食なども紹介



✓ ツアー・アクティビティ

- 阿賀野川流域は体験プログラムの宝庫
- 様々な環境学習、カヤックやスノーシュー



✓ 四季・花木情報

- 阿賀野川流域は四季折々の花木の宝庫
- 桜など花木の開花、紅葉の様子などお届け！

